



森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 10月園だより

平成28年9月29日
園長 新井 智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>

森の中で元気に遊ぶ子どもたち



どんぐり公園に年少組と年長組が
徒歩遠足 みんなでおいごっこ



しろかねだいオリンピック

園長 新井 智子

10月は、待ちに待った運動会があります。今年は、オリンピックイヤー、白金台幼稚園もオリンピックとして開催します。子ども達は、毎日いろいろな運動遊びを楽しみ、少しずつ「しろかねだいオリンピック」に向けて、気持ちを高め、活動を進めています。

毎日の取組をみていると、改めて体力が活動の源になっていることを実感します。しかし、平成21年度「全国体力、運動能力、運動習慣等調査」において、東京都の児童・生徒は、全国に比べ体格は全国平均を上回っているものの体力・運動能力は、全国平均を大きく下回っている結果となりました。幼児の体力も同等の傾向にあると思います。体力は、「運動能力を高める」「疲れにくい体をつくる」「けがをしにくく病気になりにくい体をつくる」「ストレスを解消し脳の働きを高める」という重要な役割があります。幼児は思い切り体を動かして遊ぶことが必要です。

東京都教育委員会では、上記の結果を受けて平成25年から10年計画で「子供の体力向上大作戦」を計画し推進しています。その中で幼児期の運動の意義や体力の重要性を「幼児期に日頃から体を動かすことは、結果として穏やかに持久力や心肺機能を高める。力いっぱい体を動かしたり、続けて体を動かして遊んだりする中で、筋力や持久力の発達に対する適度な刺激を与えることが大切である。生活の中では、自分の物は自分で持ったり、できるだけ歩いたりするように促すことが大切である」と、述べています。

幼児期は特別なトレーニングが必要なのではなく、普段の体を動かす遊びを存分にすることが重要なのです。また、子ども達の体力増進の要は、歩くことです。幼稚園の行き帰りやたくさん遊ぶ中で自然に歩数を重ねていくことが大切です。そして、いろいろな動きを伴って総合的に体力をつけていくことが望まれます。しろかねだいオリンピックは、心情面や協同性の育ちなども備えながら、運動の喜びや体力増進のいい機会になります。楽しくたくましく、日々活動を進めてまいります。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- 自分の思いを教師や友達に言葉や動きで伝えながら、好きな遊びを楽しむ。
- 教師や友達と一緒に、かけっこやダンスなどをして体を動かすことを楽しむ。

4歳児

- 運動会に向けての活動に興味をもち、友達と一緒に参加したり、自分から取り組んだりして楽しむ。
- 思い切り走ったり、いろいろな動きをしたりして、体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。
- 秋の自然に触れ、木の実や葉を集めたり、遊びに取り入れたりして楽しむ。

5歳児

- いろいろな運動遊びの中で、自分なりのめあてに向かって挑戦することや友達と励まし合ったり競い合ったりして取り組むことを楽しむ。
- 運動会に向けて、友達と考えを出し合って表現したり、係活動に進んで取り組んだりして、やり遂げた満足感を味わう。
- 季節の移り変わりに気付き、感動や発見を伝え合ったり自分たちの生活や遊びに取り入れたりする。